調査票の記入要領・記入例

排出事業者調査票

沖縄県産業廃棄物に関する現況調査 （令和7年度実績）

記入要領

(1)本調査の対象期間は令和7年度(2025年4月1日～2026年3月31日)の1年間です。
(2)本調査は**事業所単位**で行いますので、調査票が送付された事業所についてお答えください。
(3)太枠に囲まれた箇所につきましては、必ずご回答願います。
(4)廃棄物等の重量は、全て「トン(t)」単位で記入してください。
(5)他の単位(㎥)を使用している場合は、「トン(t)」に換算してください。(表:換算係数を参照)
(6)小数点以下は、小数点第2位まで記入し、第3位を四捨五入してください。
(7)産業廃棄物の種類は、マニフェスト記載の品目で回答ください。
　不明な場合は、混合廃棄物(〇〇)と記載し、含まれる廃棄物の種類を括弧内に明記してください。
(8)汚泥の発生量は、脱水機投入前の濃縮汚泥の量を記入してください。

エクセル様式での回答に係る注意事項

① 各問いの色付きセルについて、選択又は記入ください。
② 数値を入力する箇所は、単位は自動で記載されますので数値のみ入力してください。
③ 小数点以下は表記上、自動で四捨五入されます。
④ セル幅の変更は可能ですが、行・列の挿入はしないでください。
⑤ 集計用シートは削除しないでください。

記入例と注意事項

問1　貴事業所の概要について、ご回答ください。

会社(事業所)名	(株)〇〇環境整備
事業所住所	那覇市泉崎1-2-2
連絡先	098-000-0000 ②
業種概要	製造業(その他製造業)　E32 ③
従業員数	〇人
ご回答者 役職/氏名	〇〇

① 回答する事業所の概要についてご回答ください。
② 内容確認のご連絡をする場合がございますので、連絡先は対応可能な連絡先を記入ください。
③ 業種は、「日本標準産業分類(総務省)平成25年10月改訂版」を基に、主なものを一つ中分類までご回答ください(可能であれば小分類及び分類コードまで)。

問2　有償物の発生、廃棄物の自社処分・保管等について

○ 設問A～Cは、図：有償物の定義・位置付けのA～Cに対応しています。
○ 設問A及びBは「有価物」、設問C-1、C-2及びDは「廃棄物」として回答してください。

A. 令和7年度に有償で売却した物　（事例：鉄くずを他社に売却して利益を得た。）

	1 発生していない
○	2 発生した

いずれか1つ選択し、○を記入す

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類	鉄くず	重量	0.63 トン
売却先	（株）○○商事、（株）□□鋼業		
利用用途	再生利用		
② 種類	プラスチック類	重量	0.53 トン
売却先	（株）△△商事		
利用用途	RPF化		

※複数の記入可。

トン単位で記入すること。

C-1. 令和7年度に自社中間処理した物　（事例：汚泥を脱水した。）

	1 自社中間処理はしていない
○	2 自社中間処理した

いずれか1つ選択すること。

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類	汚泥	重量	5.30 トン
② 種類		重量	トン
③ 種類		重量	トン

廃棄物の種類は、記入要領（7）のとおり。

問3　産業廃棄物の排出量について

いずれか1つ選択すること。

	1 増加した　→	増化率	%	主な種類	
	2 ほとんど変化はない				
○	3 減少した　→	減少率	10.0%	主な種類	汚泥

増加した理由、あるいは減少した理由をお聞かせください。
原材料費の高騰により、生産量が減少したため。

廃棄物の種類は、記入要領（7）。

問5　産業廃棄物の不適正処理防止への取り組みについて

○	1 産業廃棄物処理業の許可証を確認している	
○	2 他企業と処理業者に関する情報交換をしている	
	3 処理料金が相場より安すぎる業者には委託しないようにしている	
○	4 処理業者の施設・設備を現地確認している	
	5 産業廃棄物の発生はない（処理を委託していない）	
○	6 その他　（具体的に）	電子マニフェストを利用すること

該当する項目を選択する。

自由記述